

ボッシュ、新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の迅速検査システムを開発

2020年3月26日

PI 11122 RB De/Hg

2 時間半以内に検査結果が判明

- ▶ ロバート・ボッシュ GmbH 取締役会会長のフォルクマル・デナー:「ボッシュの新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の迅速検査システムは、世界的流行の拡大を食い止め、感染経路をより早く断つことに役立つでしょう」
- ▶ 新たな迅速検査システムにより、診療所、病院、検査施設および保健所などの医療施設を支援
- ▶ 世界保健機関 (WHO) の要件を満たす本システムは、10 種類の呼吸器病原体の同時診断が可能
- ▶ ボッシュ ヘルスケア ソリューションズが Randox Laboratories Ltd. と共同で、世界初の完全自動分子診断検査のひとつを開発

シュトゥットガルト (ドイツ) – 新型コロナウイルス感染症は、世界中の医療制度と医療機関に大きな課題を突き付けています。ウイルスを迅速に診断する能力は、多くの国における爆発的拡大の抑制に非常に役立ちます。ボッシュが新たに開発した新型コロナウイルス感染症完全自動迅速検査システムは、診療所、病院、検査施設および保健所といった医療機関での迅速な診断に役立てることができます。本システムは、ボッシュ ヘルスケア ソリューションズの Vivalytic 分析装置上で作動します。「私たちは、ボッシュの迅速検査システムが、コロナウイルスの世界的流行の食い止めに出来るだけ早く貢献することを望んでいます。この検査システムにより、感染した患者の特定と隔離が加速するでしょう」と、ロバート・ボッシュ GmbH 取締役会会長のフォルクマル・デナーは語ります。

迅速な結果提供により拡大を減速

6 週間で開発した迅速検査により、検体採取からわずか 2 時間半以内に、新型コロナウイルス感染症の原因ウイルス (SARS-CoV-2) の検出結果が判明します。また、臨床現場で直接実施できるため、検体の輸送が不要となります。これにより、感染者の特定や迅速な隔離が可能になると同時に、患者が自分の健康状態について素早く確実に把握することが出来るようになります。現在の検査では通常、患者に検査結果が通知されるまでに 1 日から 2 日を要しています。「コロナウイルスとの闘いでは、時間が非常に重要です。現場で確実かつ素早い診断を直接行えることは、私たちのソリューションの大きな利点であり、『Invented for life』テクノロジーそのものです」とデナーは述べています。

鑑別診断:10種類の呼吸器病原体を同時に診断

ポツシュの迅速検査は、あらゆる医療機関で使用できる世界初の完全自動分子診断検査のひとつです。さらに新型コロナウイルス感染症に限らず、インフルエンザ A 型および B 型を含む他の 9 種類の呼吸器病原体についても、ひとつの検体から同時に検査することができます。「ポツシュの検査の特徴は、鑑別診断を提供することです。これにより、医師がさらなる検査に要する時間が節約できます。しかも信頼できる診断結果がすぐに提供されるので、医師は適切な治療をより素早く開始することが可能です」と、ポツシュヘルスケアソリューションズ GmbH 社長の Marc Meier は語ります。新たに開発した検査システムは 4 月からドイツで利用可能になり、その後、欧州の他の市場やその他の地域にも提供される予定です。

ポツシュの新型コロナウイルス感染症の迅速検査システムは、子会社のポツシュヘルスケアソリューションズと北アイルランドの医療技術企業である Randox Laboratories Ltd.との協働の成果です。「私たちは、パートナーの Randox と協力して、きわめて短期間にこの革新的な迅速検査システムの開発に成功しました。今や私たちは、これを市場に提供できる状態にあります。ポツシュの Vivalytic 分析装置は、病院や検査施設、そして診療所において、直接、安全かつ確実に検査を実施し、患者と医療スタッフに最善の安全性を提供します」と Meier は述べます。ポツシュは現在、ロバート・ポツシュ病院などの医療機関で働く医師や看護スタッフが、他者への感染のおそれなくできるだけ長く働けるよう、彼らが迅速に検査を受ける方法を検証しています。

医療現場での容易な適用

さまざまな臨床試験の結果、ポツシュの検査は 95%以上の精度で結果を提供しました。この迅速検査システムは、世界保健機関(WHO)の品質基準を満たしています。検体は、患者の鼻または喉から綿棒を使って採取します。続いて、検査に必要なすべての試薬がすでに収められているカートリッジを Vivalytic 装置に挿入して分析します。分析中、医療スタッフは患者の治療などの別の業務に携わることができます。Vivalytic 分析装置は、非常に使いやすい設計で、特別な訓練を受けていない医療スタッフでも確実に検査を実施することができます。ポツシュの Vivalytic 分析装置は、24 時間のうちに最大 10 種類の検査を実施することができます。すなわち、100 台の装置で 1 日あたり最大 1,000 回の検査を行うことができます。新型コロナウイルス感染症の拡大が勢いを増す中で、検査施設はすでに能力を超えて稼働しています。ポツシュの Vivalytic は、対応可能な検査件数の拡大に貢献します。

報道用画像: #2966042, #2966043

報道関係対応窓口:

Dörthe Warnk,

電話: +49 711 811-55508

Twitter: @d_warnk

世界のボッシュ・グループ概要

ボッシュ・グループは、グローバル規模で革新のテクノロジーとサービスを提供するリーディングカンパニーです。2019年の従業員数は約40.3万人(2019年12月31日現在)、暫定決算報告での売上高は779億ユーロ(約9.5兆円*)を計上しています。現在、事業はモビリティソリューションズ、産業機器テクノロジー、消費財、エネルギー・ビルディングテクノロジーの4事業セクター体制で運営しています。ボッシュはIoTテクノロジーのリーディングカンパニーとして、スマートホーム、スマートシティ、コネクテッドモビリティ、さらにコネクテッドインダストリーに関する革新的なソリューションを提供しています。ボッシュはセンサー技術、ソフトウェア、サービスに関する豊富な専門知識と「Bosch IoT cloud」を活かし、さまざまな分野にまたがるネットワークソリューションをワンストップでお客様に提供することができます。ボッシュ・グループはコネクテッドライフに向けたイノベーションの提供を戦略的な目標に定め、革新的で人々を魅了する全製品とサービスを通じて生活の質の向上に貢献します。つまり、ボッシュはコーポレートスローガンである「Invented for life」人と社会に役立つ革新のテクノロジーを生み出していきます。ボッシュ・グループは、ロバート・ボッシュ GmbH とその子会社 440 社、世界約 60 カ国にあるドイツ国外の現地法人で構成されており、販売／サービスパートナーを含むグローバルな製造・エンジニアリング・販売ネットワークは世界中のほぼすべての国々を網羅しています。ボッシュの未来の成長のための基盤は技術革新力であり、世界 125 の拠点で約 7 万 2,000 人の従業員が研究開発に携わっています。

ボッシュの起源は、1886年にロバート・ボッシュ(1861～1942年)がシュトゥットガルトに設立した「精密機械と電気技術作業場」に遡ります。ロバート・ボッシュ GmbH の独自の株主構造は、ボッシュ・グループの企業としての自立性を保証するものであり、ボッシュは長期的な視野に立った経営を行い、将来の成長を確保する重要な先行投資を積極的に行うことができます。ロバート・ボッシュ GmbH の株式資本の92%は慈善団体であるロバート・ボッシュ財団が保有しています。議決権の大半はロバート・ボッシュ工業信託合資会社が保有し、株主の事業機能を担っており、残りの株式は創業家であるボッシュ家とロバート・ボッシュ GmbH が保有しています。

*2019年の為替平均レート、1ユーロ=122.0058円で計算

さらに詳しい情報は以下を参照してください。

www.bosch.com ボッシュ・グローバル・ウェブサイト (英語)

www.bosch-press.com ボッシュ・メディア・サービス (英語)

<https://twitter.com/BoschPresse> ボッシュ・メディア 公式ツイッター (ドイツ語)

www.bosch.co.jp/ ボッシュ・ジャパン 公式ウェブサイト (日本語)

<https://twitter.com/BoschJapan> ボッシュ・ジャパン 公式ツイッター (日本語)

<https://www.facebook.com/bosch.co.jp> ボッシュ・ジャパン 公式フェイスブック (日本語)

<https://www.youtube.com/boschjp> ボッシュ・ジャパン 公式 YouTube (日本語)